新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインの概要

〇本ガイドラインの位置づけ

大会実施に際し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを踏まえた大会運営のあり方や、感染拡大を防止するために大会関係者が遵守すべき事項について策定。なお、各部署における詳細事項については、各運営マニュアルにて適宜作成、反映。

基本方針

2 大会実施の基準

(1)大会開催の目安となる基準
・本県が緊急事態宣言orまん延防止等重点区域の未適用
・県知事が飲食店等に対し休業要請や時短要請を未実施

(2)開催の可否を判断するプロセス
・10月上旬に開催する感染症対策委員会の助言を経て、開催の可否を判断

3 参加基準

(1)選手及びスタッフの参加基準
・事前14日間の体調管理と検温、新型コロナ検査の実施

(2)海外選手及び関係者の参加基準
※海外選手等の受入は別途定める

4 感染者の発生時

(1)感染者（疑い含む）が発生した場合
・一時的な隔離用設備を使用し、後方支援病院へ

(2)医療体制
・新型コロナウイルス感染症対策委員会、後方支援病院
・本大会のメディカル体制

(3)連絡系統図及び情報発信の方法
・レース前日及び当日の連絡体制

5 留意事項

(1)共通事項
・事前14日間の体調管理と検温、基本的な感染防止対策及び新型コロナ検査の実施

(2)選手及びコーチ等関係者
※海外選手等の受入は別に定める

(3)競技役員・スタッフ

(4)選手及びスタッフの体調管理
・ONE TAP SPORTS（選手・介助者が利用）、体調管理チェックシート、COCOAのインストール、検温等の実施

感染拡大防止マニュアル

1 感染拡大防止に向けた大会運営

(1)観戦及び応援の取扱い
・マスク着用のうえ距離を取り拍手のみでの応援を要請

(2)関係者全員の健康状態の管理
・体調管理チェックシート及び当日の検温
・新型コロナ検査（事前及び当日）の実施

(3)場面ごとの感染予防策
・「3密」を避け、受付でチェックの上IDカードで識別
・スタッフ等は事前に迅速診断キット（抗原検査）を実施
①県内＝業務日前日　②県外＝①＋来県前24時間以内
・選手は前日（受付会場）及び当日（フィニッシュ地点）で全員に核酸検出検査（LAMP法）を実施
・その他隔離用設備を中心に医療スタッフを適切に配置のうえ感染予防策を講じる

(4)メディアの感染予防策
・人数制限
・IDカード及び事前の迅速診断キット（抗原検査）の実施

2 感染者発生時の対応

(1)基本的な対応方針
・各受付におけるチェック及び検温等対応フロー

(2)感染疑い者が発生した場合の行動（各場面）
・感染疑い者が発生した場合、原則レースや業務への復帰は認めない
・安静後の再検温の結果において引き続き疑いがある者は後方支援病院（大分中村病院・アルメイダ病院）へ

(3)感染者が確認した場合の対応（原則、後方支援病院へ）
・前日及びレース終了後の検査で感染者が発生した場合
・大会終了後14日以内の感染報告があった場合
・保健所等と連携し、積極的疫学調査の実施